

わくわくクラブ



令和8年8月 第141号

きよらの郷わくわくクラブは地域の方の指導のもと
14のクラブがあり、145名が活動しています。

お料理探検



学童野球



バレーボール



総合型スポーツ



けん玉



中原☆FUN CLUB



茶の湯クラブきよら庵



FCどんぐりーズ8



バドミントン



あれは
どげなった？

検証

シリーズ No. 7

過去の陳情請願を追跡！

町政に関する要望や意見がある時は、実情を述べて適切な措置をとるよう議会に要望することができます。要望時に紹介議員がいない時は「陳情」、紹介議員がいる時は「請願」となります。

今回は、過去4年間に採択された8件の陳情請願を追跡しました。過去に採択され「対応中」となっていた【波居原交差点】【小田川の河川堤防改修】の現状も紹介します。

陳情請願一覧

採択年月日	陳情・請願名	陳情・請願者	現状
R5.1.20	野菜生産費高騰に対する追加補助に関する請願	久網一憲氏 他	対応済み
R6.6.13	町道樋ノ口吉ノ本線に関する陳情	樋ノ口組長 他	全体の道路線形などの計画は完了 終点部の一部区間において多大な事業費を要するため、経済比較を行い、再度検討する。 その結果を踏まえ、用地交渉・道路改良工事に取り組む
R6.12.12	町道田ノ原白川線改良工事についての陳情	白川自治会会長 白川観光協会会長	令和8年度、測量設計業務委託を発注し、用地交渉・工事着手予定
R7.9.12	中原川堤防道路の整備（舗装）に関する陳情書	中中原自治会長	未着手 理由：町内における町道の舗装の老朽化が進んでおり、財政面も考慮し、交通量の多い箇所から優先して舗装工事を実施するため
R7.12.12 （一部採択）	「南小国公民館満願寺分館」空調設備（エアコン）設置依頼	志津自治会会長	令和8年度中、大会議室のエアコン設置予定
R8.3.9	飼料・燃料・資材・肥料等の価格高騰に関する陳情書	武田裕泉氏、他	対応済み
R8.3.9	「町道志津志童子線道路改修工事」依頼	志津自治会会長	県道南小国波野線と接続することから熊本県との協議を行うための資料作成中
R8.6.11	「町道志津線道路拡幅改修」の依頼	志津自治会会長	測量設計調査業務委託の予算確保中



議会で採択された陳情請願案件 4 項目をご紹介します

波居原交差点



国道 442 号線と交わる交差点
／写真右奥が波居原公民館

採択：平成 25 年 12 月
竣工：令和 6 年 3 月

工事をしたことで、
見通しが良くなり、
車両通行がスムーズ
になりました。

小田川



河川改修工事を終えた小田川
／写真右が悠清苑

採択：令和 2 年 12 月
竣工：令和 7 年 5 月

河川改修工事が終わ
ったことで、大雨時
の河川氾濫リスクが
低減できました。

樋ノ口吉ノ本線



樋ノ口吉ノ本線の一部

採択：令和 6 年 6 月

全体計画は完了して
いるものの、一部区
間において多大な事
業費を要するため、
設計検討中です。

農業生産費高騰

「飼料・燃料費高騰対策補助金」として、過去 4 年間に渡り、経費の直接的補助がされました。実績は以下の通りです。

	申請件数	交付金額（円）	補助率	補助対象経費
令和４年度	177	41,538,000	補助対象経費の 10% 上限 200 万円	前年度分の 種苗費・素畜費・肥料費・ 飼料費・農薬衛生費・諸 材料費・動力光熱費・荷 造運賃手数料
令和５年度	168	44,968,000		
令和６年度	169	32,747,000	補助対象経費の 5 % 上限 300 万円	
令和７年度	159	28,316,000		

結果

議会で採択された陳情請願案件は、役場課局と議会担当委員会で現地を視察し、協議を行い対応されます。財政も有限なので慎重に検討することも大事ですが、近年は着手が遅れるにつれ、経費も増大します。採択をしてある以上、早めの対応を求めるとともに、進捗や状況報告を陳情請願者へ共有していただくことも議会として働きかけていきます。

令和8年6月 第2回定例会

6月定例会が6月9日から11日の会期で開催されました。一般質問のあと、補正予算・条例の一部改正など（予算5・条例7・人事9・陳情その他4）が審議されました。

可決された補正予算

【令和8年度会計別補正予算】

（万円未満四捨五入）

会 計 名	補正額	補正後予算総額
一般会計（第1号）	1億9003万円	64億5931万円
介護特別会計（第1号）	68万円	7億1358万円
簡易水道事業会計（第1号）		
収益的収入	2181万円	1億7735万円
収益的支出	2185万円	1億6635万円
下水道事業会計（第1号）		
収益的支出	△18万円	2億2319万円

一般会計（第1号） 主な補正予算	公共ライドシェア実証実験業務委託料	1369万円
	高齢者生活支援給付金	1880万円
	道路維持費修繕料	1800万円
	町道維持工事請負費	1175万円
	道路メンテナンス事業委託料	8150万円
	南小国町文化財保存整備事業補助金	100万円

●一般会計補正予算（第1号）の主な審議

○高齢者生活支援給付金

▶森永議員 支給対象者と給付までのスケジュール。また、その方法は。

答 今年度中に75歳になる方が対象となり、9月末までの支給を目指す。

今回の給付は、対象者の個人口座へ直接振込を行うため、個人の口座番号の把握が必要になる。

まずは、振り込み用の口座が未登録の方には口座登録依頼の案内通知を、登録済の方には振込口座の確認通知を作成、発送を行う予定。

○公共ライドシェア実証実験業務委託料

▶北里議員 実証事業後も持続して活用していく必要がある。アプリを導入したキャッシュレス決済に懸念もあるが、具体的な計画は。

答 今年10月から3カ月間の実証事業の結果を踏まえ、実走に向けて持続可能な事業を目指す。

一般車両の活用により料金算定ができないため、発着地を指定することで料金算出が可能となるアプリを導入し、キャッシュレス決済とし、電話による予約の場合は現金払いとなる予定。

○学校給食費相当額補助金

▶佐藤議員 アレルギー対応児童生徒の件数と補助の内容。命に関わる事であるため、就学時のしっかりとした引継ぎを。

答 現在、アレルギー対応が必要な児童生徒数は小学校4名、中学校1名。医師の診断書をもとに保護者・学校等関係機関と協議しながら対応している。給食センターでは除去対応ができない主食、副食の代替に対する補助。各保育園作成の保育要録を就学時に引き継ぎ、アレルギー等を含め各学校で対応している。

○南小国町文化財保存整備事業補助金

▶穴井秀房議員 補助金の内容は。また、別途計上されている修繕料は。

答 補助金については、指定文化財の保存整備において急を要する場合に備え、文化財そのものの価値を失わないようにすることを目的とし、補助上限額1件分を計上したもの。修繕としましては、満願寺関係の県指定文化財に町教育委員会が設置している看板4枚の老朽化に伴う修繕。

○農産物加工所害虫駆除委託料

▶穴井則之議員 年間の利用頻度は。また、特定の方しか利用できない部屋があるのか。

答 利用頻度は年々増加しており、現在は週3日程度。各室は施錠し管理している。事前の申込みによりどの部屋も利用可能。ただし、食品販売許可の手続きの関係上、衛生管理の徹底が必要になる。

○庁舎警備システム機器使用料

▶井野議員 機械警備の内容と今後の時間外、土日祝日の戸籍関係届出や体育館のカギの貸出方法は。

答 庁舎内外にカメラ・センサーを設置し、今年10月から警備会社のシステムによる遠隔警備を開始する。

各種届出やカギの貸借については現在調整中であり、決定次第、町民の方へ利用方法についての周知を行う予定。

●条例改正

税条例の一部改正（専決処分）	承認
国民健康保険税条例の一部改正（専決処分）	承認
介護保険条例の一部改正（専決処分）	承認
南小国町長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部改正	可決
刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定	可決
公共下水道条例の一部改正	可決
農業構造改善事業負担金徴収条例の全部改正	経済建設常任委員会付託

●人 事

固定資産評価委員の選任	松岡 洋 氏	全員同意
農業委員会委員の任命	河津博文 氏 河津 篤 氏	各々 全員同意
	宅野禎也 氏 藤里秀和 氏	
	井アサ子 氏 鞭馬公直 氏	
	北里昌嗣 氏 橋本秀史 氏	

●陳 情

◆「町道志津線道路拡幅改修」の依頼	提出者 志津自治会長	採択
◆水俣病の早期解決を国へ要望する意見書の採択を求める陳情書	提出者 水俣病不知火患者会会長	配布のみ

●その他

◆令和7年度後期高齢者医療特別会計補正予算書（第3号）（専決処分）	承認
◆工事請負契約の締結について	可決



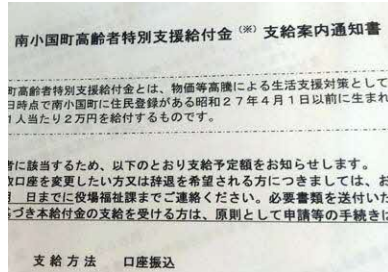
佐藤 毅 議員

Q 高齢者の生活支援と社会参加 これからの取組み・展開

A 「安心」と「やりがい」を提供できるよう鋭意取り組む

問 物価高騰対策として、高齢者への生活支援金給付をお願いした。対応はどうなっているか。

町長 6月補正予算案にて、審議していただくが、75歳以上への2万円の給付を実施したい。



発送予定の支給案内通知書

問 タクシー利用費助成事業において、50枚を使い切った利用者への追加交付は、いつから、何枚行うのか。

まちづくり課長 12月頭を基準日に、10枚交付を考えている。

問 タクシー利用費助成事業、もっと改善できるところが多い。改善に取り組んで欲しい。

町長 利用者の気持ちに寄

り添える制度へ考えていく。

問 町が考える「生涯現役社会の実現」とは、具体的にどういうことか。

福祉課長 シルバー人材センター等を活用した「活動の場」の提供と健康維持に取り組むこと。

問 現在行われている高齢者向け事業の見直し改善が必要では。

福祉課長 宿泊研修費については増額を検討する。シルバークラブの活動維持にも努める。

教育委員会事務局長 敬老会補助については、自治会活動補助へ移行できるように協議する。



ふれあいサロン交流会の様子
(於：波居原体育館)

Q 条例・予算の執行、細則の見直しを

A 引き続き適切な見直しを都度行っていく



下城孔志郎 議員

問 少子高齢化の中で長年の施行細則に現実との歪みが出てきているように思われます。今後どのようにしていくのかお伺いします。



町長 ご指摘のとおり本町の例規の中には制定後または前回改正後から相当の期間が経過しているものがあり、その間の社会情勢の変化により、制度設計時の状況と現状の乖離が生じていると認識しております。

本町では、年間100本近くの例規整備を行っており、各課局と財政担当との協議を行いながら、できる限り社会の要請に応じる事業の実現に努めているところです。今後も適切な見直しをその都度行うよう再度の指示を行って参ります。

町の公式ホームページからも閲覧可能。
<https://www.town.minamioguni.lg.jp>





北里 桂一 議員

Q 災害時の今後の対策や防災士と自主防災組織との連携について

A 防災士と情報を共有し、防災力を強化する



防災士養成講座の様子

問 今後の防災計画について、緊急時の連携協定と、住民、観光客の避難所の準備品の確保等は。

町長 県内市町村で協定や民間事業者との優先供給、緊急輸送、廃棄物の処理等24の協定を締結している。

問 SMOの主催で70名の防災士の養成講座が、観光関係者を中心に予定されています。今後の自主防災組織との連携等についての計画は。

町長 受講要件として資格取得後に町防災士LINEへの登録や有事の際の避難誘導への協力を盛り込んでいます。

問 観光客の避難場所の確保や災害時の非常食、水、トイレ、電源等の現状は。

町長 各避難所合計で食料1万1000食、水1700ℓ、簡易のテント、トイレ、ベッド、マンホールトイレそれぞれ30基、簡易トイレ220基等を所有している。非常時の電源確保については、町保有の発電機とポータブル電源、災害協定発動による発電機のレンタルによる対応を考えている。なお、これらの備蓄品については、7月中旬に公表する予定。



町が管理する備蓄品の一部

Q 資材価格の高騰や食料品消費税の非課税についてどう考えるか

A 町としても危機感を持っており注視していく



穴井 秀房 議員

問 世界規模や国政の問題であり、町議会での質問はどうかと考えるが、資材高騰が続いており、農林業は価格転嫁も厳しく大変不安になる状況となっている。

町長 現在の情勢が、価格転嫁の出来にくい農林業に対しては負担が極めて大きく、危機感を持っているが、

国際情勢に起因することであり、町単独での解決は難しい。

食料品消費税の非課税については、町内の事業者には負担や不利益が生じる可能性もあると認識しているが、反対を訴える気持ちは今のところはない。

Q 志津地区の振興をどのように考えるか

A 歴史の保存と地域活性化の好循環を生み出せるよう努める

問 南小国町は多くの温泉があるが、いずれも温泉入浴を中心とした観光が主となっているが今後はニーズの多様化から、滞在日数を増やす取組みが必要と考える。

志津地区は歴史や史跡文化財を有する温泉集落であるが、今まで手つかずとなっており、町長は振興についてどう考えるか。

町長 志津地区には、満願寺をはじめ貴重な歴史的資

産が集中しており、次世代に継承していくことが基本である。

また、観光面では、町内滞在時間をいかに長くするか課題となっており、満願寺の所有する文化財の数々や歴史的資産などは観光コンテンツとしても魅力がある。お寺、地元等と協議し歴史的環境の保存と地域活性化の好循環を生み出せるよう努める。



森永 一美 議員

Q 男児へのHPV ワクチン助成費や「ベビーボックス」の創設は？

A ワクチン助成は国の動向注視、ベビーボックスは今後検討する

日本の予防医療については、ヒトパピローマウイルス（HPV）ワクチンの接種率の低さが課題。子宮頸がんのほとんどはHPVウイルス感染によるが、ワクチン接種で高い予防効果が期待できる。子ども達が科学的で正しい情報を元に納得して選択できる環境が必要。

問 町独自で男児へのHPV ワクチン任意接種（全額自己負担）の費用助成をしますか？

町民課長 国で男性へのHPV ワクチン定期接種化（公費負担）が審議中。町で今すぐの任意接種補助は考えていない。

問 専門家を学校に招き、男女一緒に健康教育を学ぶ場を作っていますか？

教育委員会事務局長 中学校では、がんへの正しい理解を深めるために外部講師を活用している。

問 新しい命の誕生に「おめでとう」と「ありがとう」を力タチで伝える「南小国町版ベビーボックス」を創

設しては？町内産品や宿泊補助などを詰め合わせて、町を知り、好きになってもうっ機会にしては？

町民課長 今後検討したい。



ベビーボックスの参考に。

「きよらかアサ」が贈る「卒業お祝いボックス」に詰まった町内企業の逸品

Q 学校の校外学習の安全性は

A 学校・教育委員会・保護者と認識を共有し、安全対策の徹底に努める

問 小・中学校の修学旅行は、毎年同じ場所ですケジュールも決まっています。引率される先生方は初めての方もいると思う。どのように事前確認をしているか。

教育委員会事務局長 前年の秋ごろに、添乗員も入って、リスクや行程自体に無理がないか校内で会議を行い、最終決定をしている。

問 小学4年生は里山体験で川遊びやキャンプ場でバーベキューを行っています。



井野 和哉 議員

Q 部活動とわくわくクラブの今後の取組は

A 指導者謝金の増額も含め全力で支援していく

問 現在、中学校の生徒は86名いるが体育部・文化部合わせて何名が部活動に加入しているか。

指導者 指導者にお願している。

問 わくわくクラブは25周年を迎え、今年度14クラブがあるが、何名が加入しているか。

教育委員会事務局長 今年度は、86名中61名が加入している。

問 今年度から地域移行になり、全ての部活動で外部指導者が決定しているか。

教育委員会事務局長 現在、6種目ある部活動のうち、軟式野球部だけがいないが、小国中との合同で活動を行っており、そちらの方向へ持っていく。

問 今後の課題としては、後継者の問題があるが。

教育委員会事務局長 指導者の確保は一番の課題であり、長く継続できるように方向へ持っていく。

町民の声を届ける役割を担い、多様な分野の委員会等活動を通じて 町政の様々な課題に取り組んでいます！

町議会では、さまざまな分野を専門的に審査するため、議員が常任委員会や特別委員会などに所属し、条例や予算、町民生活にかかわる課題について調査・審査を行い、よりよいまちづくりに向けて活動しています。

また、町の「表彰審議会」や「地域公共交通会議」「子ども・子育て会議」などの委員として、町の重要な計画や施策について意見を述べたり、例規に基づく審査や協議、選考などに携わったりします。

町民の代表として多様な視点から意見を反映し、公正で適切な運営が図られるよう努めています。

【総務文教常任委員会】

委員長 穴井 則之
副委員長 佐藤 毅
委員 森永 一美
北里 桂一
井上 則臣

【経済建設常任委員会】

委員長 穴井 秀房
副委員長 後藤 六男
委員 下城孔志郎
井野 和哉
井上 則臣

【議会運営委員会】

委員長 下城孔志郎
副委員長 穴井 則之
委員 穴井 秀房
後藤 六男
佐藤 毅

【広報調査対策特別委員会】

委員長 森永 一美
副委員長 井野 和哉
委員 穴井 秀房
北里 桂一

【環境問題調査特別委員会】

委員長 下城孔志郎
副委員長 穴井 秀房
委員 穴井 則之
後藤 六男
佐藤 毅

【小国郷公立病院組合議会議員】

委員 後藤 六男
佐藤 毅

【阿蘇広域行政事務組合議会議員】

委員 下城孔志郎
北里 桂一

その他、委嘱されている委員等

- 監査委員 ○町有入会林野等評価委員会 ○表彰審議委員会 ○共有財産協議会
- 農協跡地利活用検討委員会 ○奨学生選考委員会 ○民生委員推薦会
- 地域包括支援センター運営協議会 ○地域福祉推進委員会 ○子ども・子育て会議
- 障がい者計画・障がい福祉計画策定委員会 ○介護保険事業計画等策定委員会
- ケーブルテレビ放送番組審査会 ○地域公共交通会議 ○総合計画策定・推進協議会
- 空家等対策協議会 ○木質バイオマス活用推進協議会 など

総務文教常任委員会

佐藤 毅

(1) 所管する課局へのヒアリング（4月22日、23日）

新年度の予算成立を受けて、各課局へ事業の取り組みやその他施策のヒアリングを行ない、意見交換を実施しました。定例会での審議に加え、より詳細な事業の中身を執行部担当者を交えて聞くものです。このことで議員も施策の意義や町の課題を共有し、解決に向けて話し合いを行ない、町民に対してより良い事業、取り組みとなるようにすることを目的としています。意見交換を行なった事業は以下の通りです。

【総務課】 ①ふるさと納税の今後
②農協跡地の今後の動き
③職員の地域内兼業

【福祉課】 ①家庭のぬくもり応援金
②新生活準備応援金
③旧グループホーム森園改修

【町民課】 ①保健事業の充実策
②結婚生活支援金支給方法

【保育課】 ①統廃合への進め方
②架け橋期プログラム

【税務課】 ①各種基金の運用
②観光地域づくり財源検討

【教育委員会】 ①給食センター建て替え
②学校施設改良工事詳細

(2) 町立保育園への訪問

梅雨の晴れ間の6月29日、3つの保育園を委員5名と保育課長同伴で訪問しました。今回の訪問の目的は、今年度で中原保育園が廃園、市原保育園へ統合されることを受け、施設を含め、現状の運営を確認することや課題を共有することにあります。

素直な感想として、先生方の子どもに対する愛情深い保育に感銘を受けました。中原保育園では、おいしい給食を園児と一緒にいただき、食育にも重きをおいている運営も確認することができました。本年度から実施されている「家庭のぬくもり応援金」制度の開始によることも要因かもしれませんが、園児数の減少を再確認しました。少子化が進む状況で、保育園の在り方も気になるところであります。

今後、市原保育園の老朽化対応や、保育士の人材確保への取り組みを求めるところです。



経済建設常任委員会

○陳情第4号「町道志津線道路拡幅改修の依頼」

井野 和哉



令和8年第2回定例議会前に、志津自治会より陳情のあった町道改修の件について、経済建設常任委員会に付託され、去る6月10日に建設課職員と現地確認を行いました。

場所は、県道南小国波野線志津地内満願寺前橋を起点に、志津集会所(南小国公民館

満願寺分館)から岡倉方面へ向かう町道で、幅員が2.5m余りの場所があり、緊急車両や大型車両の通行にも支障をきたす状態で、地元住民の日常生活にも影響を及ぼす状況であると思われ、検討の結果、付帯条件を付けて採択としました。



令和8年 議会日誌

5月	7	南小国中学校学校運営協議会
	8	菊池郡・阿蘇郡市町村議会議長会総会
	9	小国高等学校体育大会
	11	国道57号整備促進期成会総会 中九州・地域高規格道路推進期成会総会
	13	南小国町スポーツ協会理事会
	16	南小国中学校体育大会
	17	小国支援学校すぎのこ運動会
	19	全員協議会
	22	南小国町商工会通常総会
	26・27	全国町村議会議長・副議長研修会
6月	28	阿蘇・瀬の本高原マラソン大会実行委員会
	1	南小国町観光協会通常総会
	2	議会運営委員会
	4	南小国町防災会議
	9~11	第2回定例会
	11	議会広報調査対策特別委員会
	24・25	経済建設常任委員会
	25	全員協議会
	25	小国高等学校の魅力化と永遠の発展の会総会
	27	ほこすぎ会
7月	29	総務文教常任委員会
	29	南小国町青少年健全育成会総会 南小国町人権教育推進協議会総会
	1	第76回社会を明るくする運動
	2	小国地区防犯協会連合会総会
	3	南小国中学校学校運営協議会
	6	経済建設常任委員会
	14	議会広報調査対策特別委員会
	16	中九州・地域高規格道路促進期成会総会
	17	正副委員長研修会 経済建設常任委員会
	27	議会広報調査対策特別委員会 正副議長・常任委員長・議会運営委員長研修会
	29	阿蘇森林組合通常総代会

○大雨による災害状況確認(7月6日)

委員長 穴井 秀房

令和8年7月1日から2日明け方にかけての非常に強い雨により、町内各地で倒木や土砂災害等が発生。これを受け7月6日に現地確認を行いました。

幸いにも人的被害の報告はありませんでしたが、河川等の越水や流木による田畑への土砂流入や路肩決壊など多数の被害が町内各地で発生しております。

執行部に対し、一刻も早い復旧を希望するものです。



あんどう ひろたか 安藤 大峻さん

理想の牧場を求めて南小国へ移住。
大草原を駆ける、牛飼いの夢と挑戦。

プロフィール

千葉県生まれ、新町在住。東京での会社員を経て、大分県で畜産を経験。2022年、理想の土地を求めて南小国へ移住。2年間の研修後に独立。2025年、南小国町農業担い手育成事業補助金（以降：担い手補助金）を活用し牧場を開設。



…南小国に移住された経緯を教えてください。

東京で会社員をした後、田舎暮らしや社会問題解決に関心があり、大分県の牧場で働きました。訳あってその牧場を1年で離れましたが、牛から離れると淋しくて、「自分で独立して牛飼いになろう」と九州や四国で土地を探し歩きました。ふと『草原牛プロジェクト』を思い出し、ダメ元で電話をしたところ「一度来たら？」と言われ、翌日には広大な草原の上に立っていました。まさに理想郷。「ここだ！」とこの地での挑戦を即決しました。

…自身の牧場を持つまでの経緯を教えてください。

移住後の2年間は研修生として活動しました。町内の原野を巡り、地域の方々と対話を重ねました。「南小国を自分の地元になりたい」と思っている中で、野焼きや消防団など地域活動も参加しています。地域の方と一緒に活動するのは楽しいですし、皆さんにとっても親切にいただいています。機械や資材置き場なども快く貸していただ



牛たち一頭一頭に名前を呼んで話しかけながら体を撫でる安藤さん。
牛たちは順番待ちでした

いたりと感謝がありません。

牛舎建設では『担い手補助金』を活用しましたが、申請時も担当職員さんが親身にサポートしてくれましたし、町が農業を応援してくれることが本当に有難いです。

…どんな飼い方をされていますか？

一年中放牧して育てています。牛たちが草原の中を自由に歩き回り、好きな時に野草を食べて、暑い時には木陰で涼んだり、行動を選択できるようになっています。野草だけでなく不足する栄養を補うために、小国郷のおからやビール粕などを使った発酵飼料も自分で作っています。放牧だからこそ丁寧な管理が大切だと思っていますので、健康観察も毎日行なっています。

出荷した牛は、生ハムやソーセージなどの加工品や熟成をさせて少しずつ販売しはじめています。先日、飲食店で披露した際に「おいしい！」とおかわりされた方がいて、本当に嬉しかったです。

…今後の展望を教えてください。

草原で生まれ放牧されて育った牛は全国的にも稀少なので、南小国の新たなブランドに育てて、地元で使ってもらえるようにしたいです。ゆくゆくは、放牧を通じて草原を維持できるような循環型畜産のモデルを確立できたらと考えています。

取材：穴井秀房、北里桂一、森永一美



今回の議会においては後期高齢者に生活支援金2万円を配布、小学校においてはエアコンの設置費用やライドシェアの実証実験等様々な議案が可決されました。

中東の戦争ホルムズ海峡の封鎖により石油価格、原材料、人件費の高騰により昨年度からの繰り越しにより本年度施行予定の建築、建設、改装、解体の予算が倍増しています。

コンテナハウス等は安価で簡易に設置できるし移動可能で簡易な事務所や災害時の仮設住宅や災害備品の倉庫、災害時の他の連携市町村への貸し出しも可能です。

現在話題となっている熊本市の庁舎建設予算が400億から880億、1280億まで増額している現状を踏まえ本町も人口減少による統合や老朽化による解体等、10年後も20年後も必要なのか近い将来解体するものなのか、判断が必要な時期にきていると思います。

町民インタビューでの安藤氏への取材を通して、今以上に移住定住につながる様な魅力あるまちづくりを目指す必要があると痛感しました。
(北里桂一)

発行責任者

議長 井上 則臣

広報調査対策特別委員会

委員長 森永 一美

副委員長 井野 和哉

委員 穴井 秀房

委員 北里 桂一